

温泉浴衣の類型化と色・柄に抱く年齢意識

孫 珠熙 (孫 珠熙)

Classification of Hot-Spring YUKATA and age Consciousness in Colors/Patterns

Ju-hee SOHN

[摘要]

本研究は、温泉浴衣の嗜好を類型化し、色・柄に抱く年齢意識を明らかにすることを目的とする。被験者は大学生296名（男子75名、女子221名）で、15種の実物浴衣サンプルを用いて温泉浴衣の色・柄に抱く年齢意識について視覚評価による質問紙調査を実施した。温泉浴衣を類型化した結果、「はなやかー渋い」、「女性的ー男性的」といった2次元の軸が得られた。男子学生は「渋い配色で男性的なイメージ」>「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣を好む傾向が、女子学生は「はなやかな配色で女性的なイメージ」>「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣を好む傾向がみられ、性別で温泉浴衣の好み異なることがわかった。年齢意識については「はなやか (Strong Tone や Bright Tone)」な配色の浴衣は若年層に似合うと、「渋い (Dull Tone や Deep Tone)」配色は中年層・老年層に似合うと考えられていることから、温泉浴衣の色や柄に年齢意識を抱いていることが示唆された。

キーワード：温泉浴衣, 年齢意識, ポジショニングマップ, 嗜好傾向, 感性

Keywords : Onsen yukata, age consciousness, positioning map, preference trends, emotion

I 緒言

浴衣や着物といった和装は、日本独自のファッションであり、伝統的な文化である。現在のように洋服が一般化するまでは、日本では和服が着用されており、普段着や寝間着となっていた。

しかし、現在では洋服が一般化したことで和服を着る機会は減り、年に1回着るか着ないかという状態となった。和服としてよく取り上げられるのが着物や浴衣であるが、着物は結婚式や成人式、七五三などの特別な日に着用され、浴衣は七夕や花火大会などのお祭りで着用されるぐらいである。

冒頭で述べた通り現在は洋服が一般化しており、洋服の形、色、柄、デザイン展開は多様化し、毎年流行が移り変わる。

最近では大量生産により低価格で販売される「ファストファッション」や男女区別がなくなった「ジェンダーレスファッション」などが見られる一方、温泉浴衣は昔からあまり形が変わらず、色や柄、

デザイン展開も洋服に比べてはるかに少ない。

温泉浴衣の印象評価については、6種の温泉浴衣を使った先行研究がある¹⁾。SD法による8段階尺度（1非常に、2かなり、3やや、4わずかに、5わずかに、6やや、7かなり、8非常に）で、対になる形容語11項目（表1）について、それぞれ印象評価をしたものだが、その結果、対になる形容語11項目の中、もっともギャップの大きい項目は「女らしいー男らしい」、「若く見えるー老けて見える」であることが分かった¹⁾（図1）。さらに、若者は浴衣

表1 実物浴衣の印象評価の測定11対の形容語¹⁾

	非常に	かなり	やや	わずかに	わずかに	やや	かなり	非常に	
おしゃれな	1	2	3	4	5	6	7	8	やぼったい
美しい	1	2	3	4	5	6	7	8	醜い
派手な	1	2	3	4	5	6	7	8	地味な
若く見える	1	2	3	4	5	6	7	8	老けて見える
個性的な	1	2	3	4	5	6	7	8	平凡な
高級な	1	2	3	4	5	6	7	8	安っぽい
女らしい	1	2	3	4	5	6	7	8	男らしい
フォーマルな	1	2	3	4	5	6	7	8	カジュアルな
現代的な	1	2	3	4	5	6	7	8	古典的な
活発な	1	2	3	4	5	6	7	8	おとなしい
好きな	1	2	3	4	5	6	7	8	嫌いな

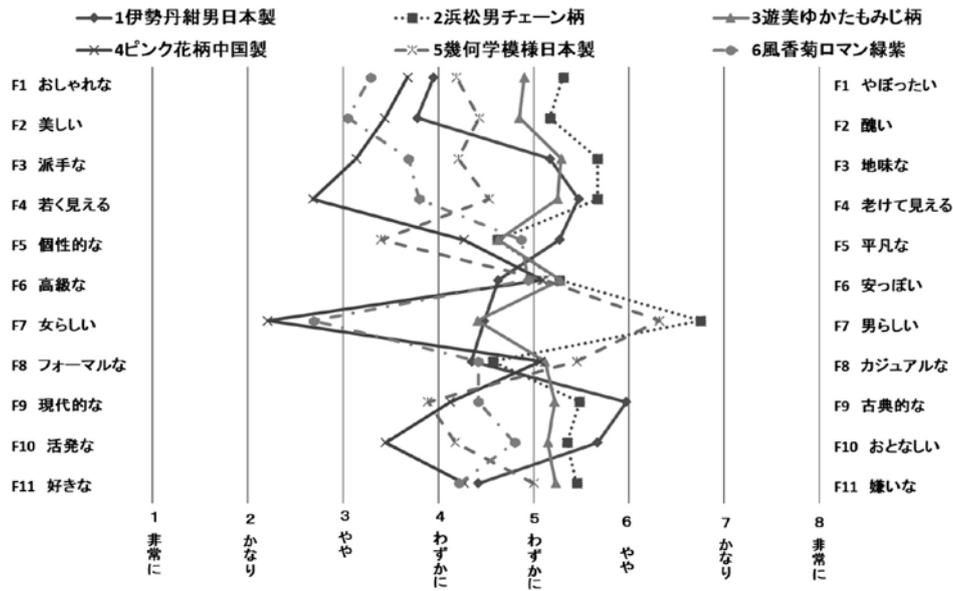


図1 平面状態における実物温泉浴衣6種の評定¹⁾ (F;Flat)

を着ると「大人っぽく見える」と答えた事例もある²⁾。

また、布のイメージに関する先行研究では、柄より色彩の方が若干大きく関与するものの、若い年齢層に合うのは高彩度、年齢の高い人に合うのは低明度の色が関与していることが判明している³⁾。

このように、色・柄と年齢適合感に関する研究は行われているが、温泉浴衣の色・柄に抱く年齢意識に関する研究はなされていない。

そこで、本研究では形が同様で色柄が異なる市販の温泉浴衣を用いて、好みの浴衣の調査を基に浴衣を2次元のポジショニングマップにより類型化する。また、若く見える浴衣、老けて見える浴衣を視覚評価により測定し、温泉浴衣の色・柄に抱く年齢意識の傾向を明らかにすることを目的とする。

II 方法

2-1 調査内容

本研究では15種類の温泉浴衣の実物と写真を同時に見せ、質問紙調査を行った。調査内容は、(1)自分の好みの浴衣を2~3つ選んでもらう、(2)似合う浴衣については若者(10~30代)、中年(40~50代)、高年(60代以上)の各年代についてそれぞれ3つずつ選んでもらう。質問紙は講義中に配布し、講義終了後に回収した。

2-2 調査時期と調査対象

調査時期は2017年7月、調査対象はT大学大学生男女296名(男子75名、女子221名)である。

2-3 試料

(1)15種類の温泉浴衣の実物(Sample No.21~35)をサンプルとして用いた(図2)。サンプルは、伊勢丹百貨店や浜松市で販売されている温泉旅館浴衣の中から厳選し購入した。また男女兼用で着られるものや、男女の嗜好が偏らないようサンプルを準備した。

(2)試料の詳細(柄、Color、素材、身丈/袖丈/裾丈)については表2に示す。色の分類はNCD(日本カラーデザイン研究所)の色相&トーン・システムを用いた⁴⁾⁵⁾⁶⁾。



図2 実物温泉浴衣15種

表 2 実物温泉浴衣 15 種 (詳細)

Sample No.	柄	色 (色相/Tone)	繊維の組成	身丈 / 袖丈 / 衿丈 サイズ (cm)
21	牡丹菊	Red/Deep	綿 100%	130/33/65
22	幾何学	Purple/Deep	綿 100%	135/48/70
23	百合	Green Yellow/Pale	ポリエステル 30%/ 綿 70%	140/39/67
24	折紙風車	Purple Blue/Dark	綿 100%	140/33/63
25	流水紅葉	Red Purple/Light	ポリエステル 30%/ 綿 70%	147/34/68
26	花柄	Red Purple/Bright	ポリエステル 30%/ 綿 70%	145/40/68
27	流水紅葉	Blue/Light	ポリエステル 30%/ 綿 70%	157/34/68
28	藤撫子	Purple/Bright	綿 100%	140/40/65
29	撫子	Blue/Bright	ポリエステル 30%/ 綿 70%	137/34/34
30	花かすみ	Yellow Red/Pale	ポリエステル 30%/ 綿 70%	137/34/68
31	吉原繫ぎ	Blue/Dark	ポリエステル 30%/ 綿 70%	145/34/67
32	菊	Purple/Bright	ポリエステル 30%/ 綿 70%	140/39/67
33	伝統的総柄	(Neutral1.5)	ポリエステル 100%	109/27/66
34	刺子縞	Purple Blue/Dark	ポリエステル 30%/ 綿 70%	130/39/67
35	矢紺	Red/Strong	ポリエステル 30%/ 綿 70%	140/39/67

派手なイメージは (Vivid, Strong) Tone, 明るいイメージは (Bright, Pale, Very Pale) Tone, 地味なイメージは (Light Greyish, Light, Greyish, Dull) Tone, 暗いイメージは (Deep, Dark, Dark Greyish) である。無彩色は Neutral tone である。

上記サンプル 15 種は 10 色相の色中 Y と BG 以外の 8 色相に分布していることがわかる。色相で見ると, Y は暖色系 (R, YR, Y), BG は寒色系 (G, BG, B, PB) なのでサンプル試料の品揃えは揃っていると言える (表 2)。



図 3 実物浴衣 15 種の提示の様子

2-4 提示方法

(1) 教室の前面に温泉浴衣のサンプル No.21 ~ 35 を前面が見えるように置いた (図 3)。

(2) サンプル No.21 ~ 35 の写真も用意し, 別紙 (A4) でカラー印刷して配布した。用紙は写真専用で印刷した。

2-5 分析方法

分析ツールは IBM SPSS Statistics23.0J を活用し, 単純集計, 多変量解析を行った。

好みの温泉浴衣については収集したデータ 2 値 (ゼロ, イチ) を対象にして, 多次元尺度法^{8) 9)} (Multi-dimensional Scale: 多次元尺度構成法ともいう) を用いて, 2 値のユークリッド距離を基準にしたポジショニングマップを作成し, 横軸と縦軸の次元の解析を試みながら浴衣間の類似性を検証した。多次元尺度法を使用して類似度内に隠された構

造を発見できる。これらの結果を基に, 好みの温泉浴衣 15 種の割合を次元ごとに可視化した。

温泉浴衣を柄, 色, 素材, 身丈 / 袖丈 / 衿丈の 4 項目について測定した。それを表 2 に示す。表 2 の色の分類には株式会社日本カラーデザイン研究所 (NCD) の「色相&トーン・システム 130 色」を利用している。色相&トーン・システムは無数の配色のイメージの世界で的確に色の意味の違いを捉えるために, 心理的に研究され, 絞り込まれた有彩色 120 色, 無彩色 10 色の体系である^{4) 5) 6)}。株式会社日本カラーデザイン研究所 (NCD) の色相&トーン・システムは分析事例の論文として用いられている⁷⁾。素材の項目については脇ラベルより検証した。身丈 / 袖丈 / 衿丈の項目については実物浴衣の実寸法を計測した。



図4 実物温泉浴衣 15種のポジショニングマップ¹⁰⁾

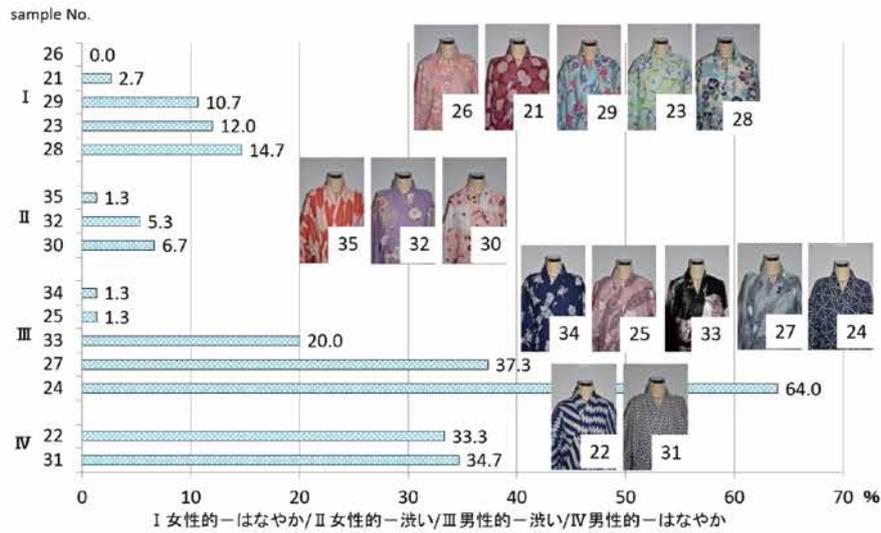


図5 好みの浴衣 (男子学生: N = 75)¹⁰⁾

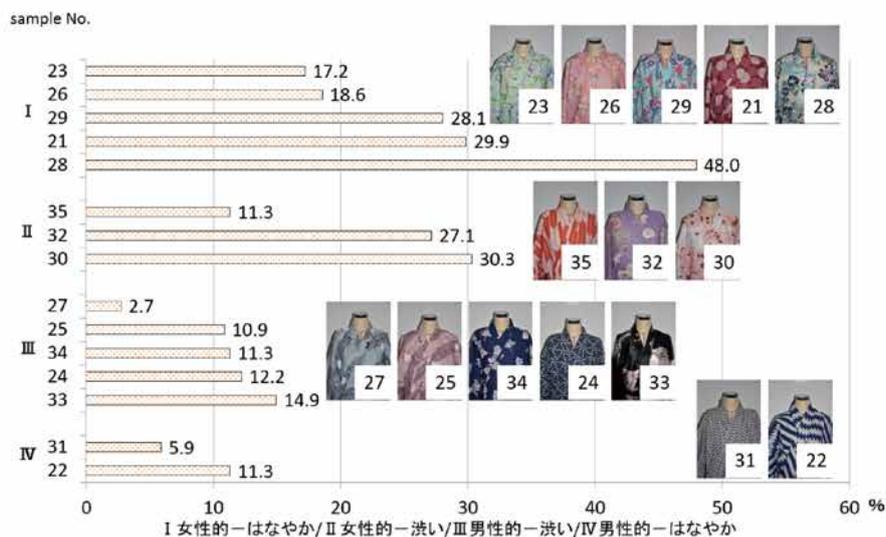


図6 好みの浴衣 (女子学生: N = 221)¹⁰⁾

Ⅲ 結果及び考察

3-1 実物温泉浴衣の類型化

15種類の温泉浴衣 (Sample No.21～35) を感性的嗜好について分類した。収集したデータ2値 (ゼロ, イチ) を対象にして, 多次元尺度法⁸⁾⁹⁾ (Multi-dimensional Scale: 多次元尺度構成法ともいう) を用いて, 2値のユークリッド距離を基準にしたポジショニングマップを作成し, それにより, 温泉浴衣を可視化した。その結果, 「はなやかな-渋い」, 「女性的-男性的」といった2次元の軸があると解釈した (図4)。

3-2 好みの温泉浴衣 (男子)

4つのポジショニング別の割合を図5に示す。

男子好みの浴衣について, 15種の温泉浴衣の上位5位でみると, 「24 (64.0%) 1位」, 「27 (37.3%) 2位」, 「33 (20.0%) 5位」の「渋い配色で男性的なイメージ」の浴衣と「31 (34.7%) 3位」, 「22 (33.3%) 4位」の「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣を好む傾向がみられた。

一方, 「28 (14.7%)」, 「23 (12.0%)」, 「29 (10.7%)」, 「21 (2.7%)」, 「26 (0.0%)」の「はなやかな配色で女性的なイメージ」の浴衣と「30 (6.7%)」, 「32 (5.3%)」, 「35 (1.3%)」の「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣を好む傾向は15%以下だった。

3-3 好みの温泉浴衣 (女子)

4つのポジショニング別の割合を図6に示す。女子好みの浴衣について, 15種の温泉浴衣の上位5位でみると, 「28 (48.0%) 1位」, 「21 (29.9%) 3位」, 「29 (28.1%) 4位」の「はなやかな配色で女性的なイメージ」の浴衣と「30 (30.3%) 2位」, 「32 (27.1%) 5位」の「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣を好む傾向がみられた。

一方, 「33 (14.9%)」, 「24 (12.2%)」, 「34 (11.3%)」, 「25 (10.9%)」, 「27 (2.7%)」の「渋い配色で男性的なイメージ」と「22 (11.3%)」, 「31 (5.9%)」の「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣を好む傾向は15%以下だった。

このことから現代の大学生は, 男子学生であれば「男性的なイメージ」の浴衣, 女子学生であれば「女性的なイメージ」の浴衣というように, それぞれの性別のイメージの浴衣を好んでいることが明らかに

なった。

3-4 温泉浴衣に抱く年齢意識

3-4-1 若年層に似合うと考えられている温泉浴衣

4つのポジショニング別の割合を図7に示す。

(1) 男子の評価について, 15種の温泉浴衣の上位5位でみると, 「28 (40.5%) 1位」, 「29 (32.4%) 2位」, 「21 (29.7%) 4位」, 「23 (29.7%) 4位」の「はなやかな配色で女性的なイメージ」の浴衣と「30 (31.1%) 3位」の「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣であった。

(2) 女子の評価について, 15種の温泉浴衣の上位5位でみると, 「28 (58.3%) 1位」, 「29 (49.5%) 2位」, 「26 (43.6%) 3位」, 「21 (37.2%) 4位」の「はなやかな配色で女性的なイメージ」の浴衣と「30 (36.7%) 5位」の「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣が若年層に似合うと評価された。

若年層に似合うと評価された浴衣は明るい色調が多い。また, 配色の面で見ると明度差が大きい配色が多く, Pale Tone や Bright Tone が用いられていることが多いことが明らかになった。

3-4-2 中年層に似合うと考えられている温泉浴衣

4つのポジショニング別の割合を図8に示す。

(1) 男子の評価について, 15種の温泉浴衣の上位5位でみると, 「31 (56.8%) 1位」, 「22 (35.1%) 3位」の「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣と「24 (40.5%) 2位」, 「25 (29.7%) 4位」の「渋い配色で男性的なイメージ」の浴衣と「32 (24.3%) 5位」の「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣であった。

(2) 女子の評価について, 15種の温泉浴衣の上位5位でみると, 「31 (30.3%) 4位」の「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣と「25 (48.4%) 1位」, 「24 (36.2%) 2位」, 「27 (29.4%) 5位」の「渋い配色で男性的なイメージ」の浴衣と「32 (32.6%) 3位」の「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣が中年層に似合うと評価された。

中年層に似合うと評価された浴衣の色調に注目してみると渋い色調が多い。また, 配色に注目してみると類似配色が多く, Dark grayish Tone や Light Tone が用いられていることが多いことが明らかになった。

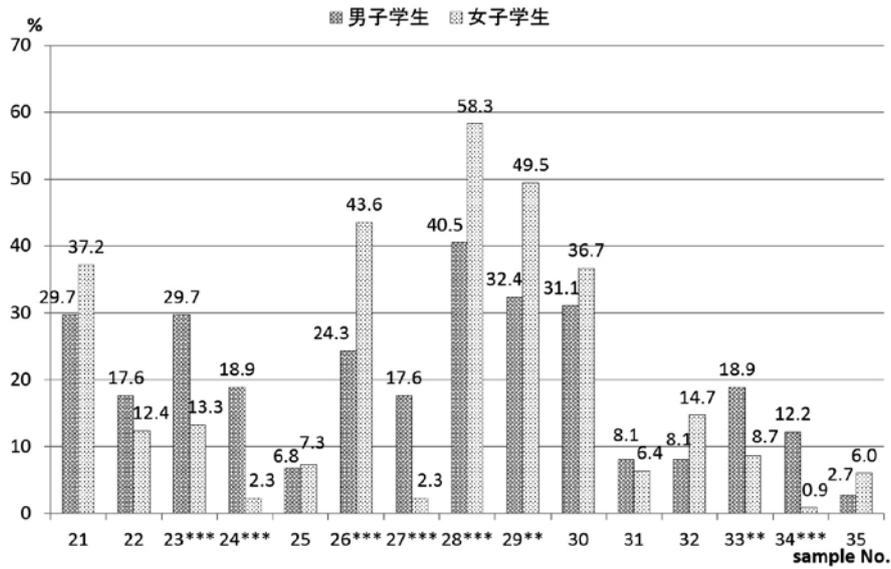


図7 若年層に似合う浴衣¹⁰⁾

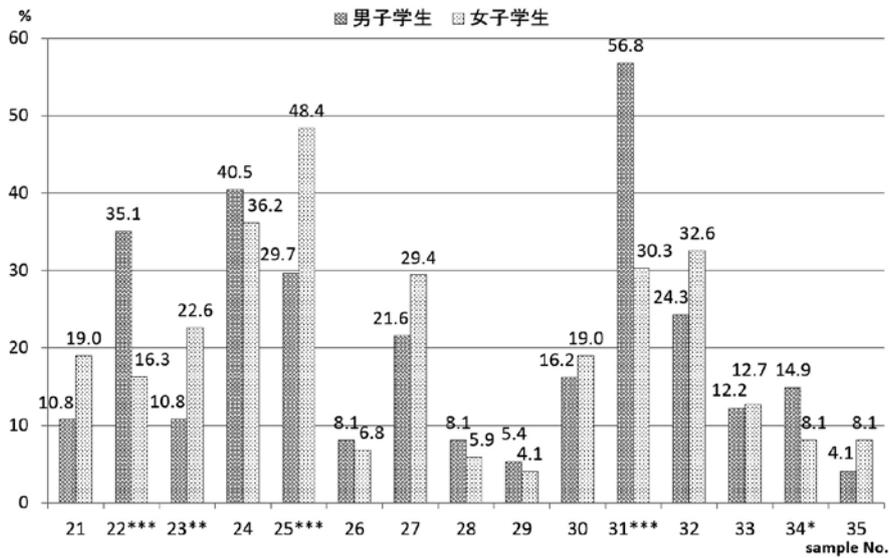


図8 中年層に似合う浴衣¹⁰⁾

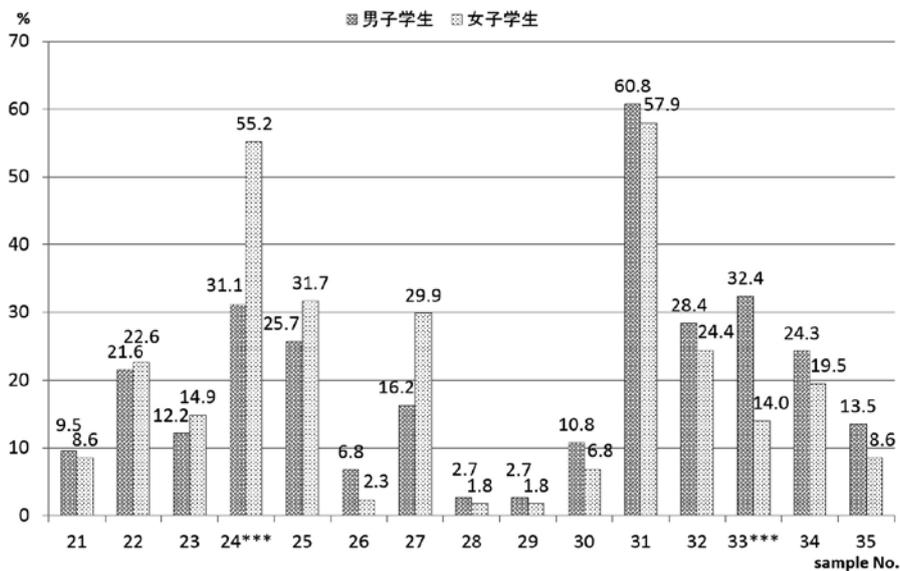


図9 高年層に似合う浴衣¹⁰⁾

3-4-3 高年層に似合うと考えられている温泉浴衣

4つのポジショニング別の割合を図9に示す。

(1) 男子の評価について、15種の温泉浴衣の上位5位でみると、「31 (60.8%) 1位」の「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣と「33 (32.4%) 2位」、「24 (31.1%) 3位」、「32 (28.4%) 4位」、「25 (25.7%) 5位」の「渋い配色で男性的なイメージ」の浴衣であった。

(2) 女子の評価について、15種の温泉浴衣の上位5位でみると、「31 (57.9%) 1位」の「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣と「24 (55.2%) 2位」、「25 (31.7%) 3位」、「27 (29.9%) 4位」、「32 (24.4%) 5位」の「渋い配色で男性的なイメージ」の浴衣が高年層に似合うと評価された。

高年層に似合うと評価された浴衣は暗い色調が多い。また、配色の面でみるとモノトーンに近い配色が多く、Dark grayish Tone や Deep Tone が用いられていることが多いことが明らかになった。

3-5 色・柄に抱く年齢意識

若年層、中年層、高年層のそれぞれに似合う浴衣

の順位を単純集計し、4つのポジショニング分類ごとに示した(表3)。調査人数の詳細は、男子学生 N = 75 (若年層 / 上位3つ回答 : 221 = 100%, 中年層 / 上位3つ回答 : 221 = 100%, 高年層 / 上位3つ回答 : 221 = 100%), 女子学生 N = 221 (若年層 / 上位3つ回答 : 653 = 100%, 中年層 / 上位3つ回答 : 663 = 100%, 高年層 / 上位3つ回答 : 663 = 100%) の計 296 名である。

(1) 男子の評価における若年層では、「I. はなやかな配色で女性的なイメージ」は 28, 29, 21, 23 の順で全種類の上位5種に属する。「II. 渋い配色で女性的なイメージ」は 30 が 3 位となっている。

中年層では、「II. 渋い配色で女性的なイメージ」は 32 が 5 位となっており、「III. 渋い配色で男性的なイメージ」は 24, 22 の順で全種類の上位5種に属する。また「IV. はなやかな配色で男性的なイメージ」は 31, 22 がそれぞれ 1 位と 3 位となっている。

高年層では、「II. 渋い配色で女性的なイメージ」は 32 が 4 位となっており、「III. 渋い配色で男性的なイメージ」は 33, 24, 25 の順で全種類の上位5種に属する。また「IV. はなやかな配色で男性的な

表3 各年齢層に似合う浴衣の順位と割合

TOTAL 人数	若年層に似合う浴衣				中年層に似合う浴衣				高年層に似合う浴衣			
	N=75	男子学生	N=221	女子学生	N=75	男子学生	N=221	女子学生	N=75	男子学生	N=221	女子学生
	221	100%	653	100%	221	100%	647	100%	211	100%	663	100%
I. はなやかな配色で女性的なイメージ	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位
21	22	4	81	4	8	10	42	7	7	12	19	10
23	22	4	29	7	8	10	36	6	9	10	33	8
26	18	6	95	3	6	12	15	13	5	13	5	13
28	30	1	127	1	6	12	13	14	2	14	4	14
29	24	2	108	2	4	14	9	15	2	14	4	14
I. 小計	116	52.5%	440	67.4%	32	14.5%	115	17.8%	25	11.8%	65	9.8%
II. 渋い配色で女性的なイメージ	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位
30	23	3	80	5	12	7	42	7	8	11	15	12
32	6	12	32	6	18	5	72	3	21	4	54	5
35	2	15	13	12	3	15	18	11	10	9	19	10
II. 小計	31	14.0%	125	19.1%	33	14.9%	132	20.4%	39	18.5%	88	13.3%
III. 渋い配色で男性的なイメージ	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位
24	14	7	5	13	30	2	80	2	13	3	122	2
25	5	14	16	10	22	4	106	1	19	5	70	3
27	13	9	5	13	16	6	65	5	12	8	66	4
33	14	7	19	9	9	9	28	10	24	2	31	9
34	9	11	2	15	11	8	18	11	18	6	43	7
III. 小計	55	24.9%	47	7.2%	88	39.8%	297	45.9%	86	40.8%	332	50.1%
IV. はなやかな配色で男性的なイメージ	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位	N	順位
22	13	9	27	8	26	3	36	9	16	7	50	6
31	6	12	14	11	42	1	67	4	45	1	128	1
IV. 小計	19	8.6%	41	6.3%	68	30.8%	103	15.9%	61	28.9%	178	26.8%
TOTAL 種	15種	上位5位	15種	上位5位	15種	上位5位	15種	上位5位	15種	上位5位	15種	上位5位

イメージ」は31が1位となっている。

また男子学生全体でみると「Ⅰ. はなやかな配色で女性的なイメージ」は年齢層が上がることに減少していることが分かる。一方、「Ⅱ. 渋い配色で女性的なイメージ」と「Ⅲ. 渋い配色で男性的なイメージ」は年齢層が上がるごとに増加している。

(2) 女子の評価における若年層では、「Ⅰ. はなやかな配色で女性的なイメージ」は28, 29, 26, 21, の順で全種類の上位5種に属する。「Ⅱ. 渋い配色で女性的なイメージ」は30が5位となっている。

中年層では、「Ⅱ. 渋い配色で女性的なイメージ」は32が3位となっており、「Ⅲ. 渋い配色で男性的なイメージ」は25, 24, 27の順で全種類の上位5種に属する。また「Ⅳ. はなやかな配色で男性的なイメージ」は31が4位となっている。

高年層では、「Ⅱ. 渋い配色で女性的なイメージ」は32が5位となっており、「Ⅲ. 渋い配色で男性的なイメージ」は24, 25, 27の順で全種類の上位5種に属する。また「Ⅳ. はなやかな配色で男性的なイメージ」は31が1位となっている。

また、女子学生全体でみると男子学生と同様に「Ⅰ. はなやかな配色で女性的なイメージ」は年齢層が上がることに減少していることが分かる。一方、「Ⅱ. 渋い配色で女性的なイメージ」と「Ⅲ. 渋い配色で男性的なイメージ」は年齢層が上がるごとに増加している。

以上のことより、男女間の差はほとんどなく、学生は若年層にははなやかな配色での浴衣が、高年層には渋い配色の浴衣が似合うと考えられていることが分かる。

Ⅳ 結 言

本研究では、大学生男女296名(男子75名, 女子221名)を対象に温泉浴衣の嗜好や年齢意識について質問紙調査し検討した。分析ツールはIBM SPSS Statistics23.0Jを活用した。

(1) 15種類の温泉浴衣を感性への嗜好における分類を行うため、多次元尺度法により、温泉浴衣を可視化した結果、「はなやかな-渋い」、「女性的-男性的」といった2次元の軸が得られた。

(2) 男子学生には「渋い配色で男性的なイメージ」の浴衣と「はなやかな配色で男性的なイメージ」の浴衣を好む傾向がみられた。

(3) 女子学生には「はなやかな配色で女性的なイメージ」の浴衣と「渋い配色で女性的なイメージ」の浴衣を好む傾向がみられた。また、好みの浴衣について性別に基づいて考察すると、男子学生に比べ女子学生の方が温泉浴衣の好み分散しており、女子学生は好みが多様化していることが分かる。

以上のことより現代の大学生は、男子学生であれば「男性的なイメージ」の浴衣、女子学生であれば「女性的なイメージ」の浴衣というように、それぞれの性別のイメージの浴衣を好むことが明らかとなった。また、男子学生と女子学生の好みははっきりと異なっていることが分かった。

(4) 大学生に若年層に似合うと評価された浴衣は明るい色調が多い。また、配色の面でみると明度差が大きい配色が多く、実物温泉浴衣15種(詳細)の色をToneに基づいて考察するとPale ToneやBright Toneが用いられていることが多かった。

(5) 中年層に似合うと評価された浴衣は渋い色調が多い。また、配色の面でみると類似配色が多く、実物温泉浴衣15種(詳細)の色をToneに基づいて考察するとDark grayish ToneやLight Toneが用いられていることが多かった。

(6) 高年層に似合うと評価された浴衣は暗い色調が多い。また、配色の面でみるとモノトーンに近い配色が多く、実物温泉浴衣15種(詳細)の色をToneに基づいて考察するとDark grayish ToneやDeep Toneが用いられていることが多かった。

以上のことより年齢層が高くなるにつれて明度、彩度がともに低くなることが明らかとなった。しかし、若者の思っていることを、実際に中年層、高年層に当たる人も思っている可能性は低いと考えられる。なぜなら、年齢だけで女性市場を読み解く時代は終わった¹¹⁾からである。1971年から1975年に生まれた団塊ジュニア世代の方も、2019年に44歳から48歳、つまり40代半ばに達している。現代のライフスタイルは年代における分類は通用できず、多様な価値観で自分らしさを重視していることが潜在的にあると考えられる。さらに中年層、高年層に当たる人たちは既製服世代であるためである。

謝辞

本研究にご協力いただいた被験者の皆様に深く感謝を申し上げます。本研究は文部科学省科学研究費JP15K00749の助成を受けて実施したものです。(研究代表者：孫 珠熙)

付記

本論文は日本繊維製品消費科学会年次大会(2018.6)にて発表した研究を孫が再分析、再校正したものである。図表の一部は学生今枝氏に協力をいただいた。

参考文献

- 1) 孫 珠熙, 表 奈緒; 浴衣の評価条件がもたらす印象評価, 富山大学人間発達科学部紀要, 12 (2), 75-83 (2018)
- 2) 孫 珠熙; 好みの温泉浴衣の類型化にみる女子学生の装い行動, 日本家政学会誌, 69 (1) 27-36 (2018)
- 3) 石原久代, 山縣亮介; 布地のイメージに関する色・柄と年齢適合感の関係, 織消誌, 59 (1) 39-47 (2017)
- 4) 小林重順; カラーイメージスケール 改訂版, 講談社 (2001)
- 5) 小林重順; カラーシステム, 講談社 (1999)
- 6) 小林重順; 配色イメージワーク, 講談社 (1995)
- 7) 清澤雄; かわいい色の調査結果に基づく評価者のクラスター分類とその嗜好特性, 日本感性工学会論文誌, 13 (1) 107-116 (2014)
- 8) 齋藤堯幸; 多次元尺度構成法, 朝倉書店 (1980)
- 9) 高根芳雄; 多次元尺度法, 東京大学出版会 (1980)
- 10) 孫 珠熙, 今枝聖人, 日光美織, 森 隼人; 温泉浴衣の類型化と色・柄に抱く年齢意識, 日本繊維製品消費科学会年次大会研究発表要旨, 138 (2018)
- 11) 三菱総合研究所; 女性市場攻略法—生活者市場予測が示す広がる消費, 日本経済新聞出版社 (2017)

(2018年10月22日受付)

(2018年12月19日受理)